

国際社会における社会的投資の最新動向と 日本における発展の可能性

日本財団 小林立明

日本NPO学会第17回年次大会

D2 運営委員会企画パネル

2015年3月15日(日)9:00～10:30

1. 「社会的インパクト投資」とは？



- 社会的インパクト投資とは、特定の社会的目標の達成と同時に金融リターンの獲得も明示的に目指し、このために両者の達成度を測定しようとする投資である。

(社会的インパクト投資タスクフォース報告より)



- インパクト投資とは、第一義に社会的インパクトの創出を目的とし、第二に金銭的利益を生むことを目的とする助成金、融資、投資を指す。
- インパクト投資の投資対象は、行政による公的事業ではなく、民間組織(特定非営利活動法人、協同組合、市民社会団体、社会的企業その他)による社会的事業である。
- 提供される資金が、特定非営利活動法人、社会福祉団体、協同組合などをターゲットとしたものであっても、投融資の条件が、一般の企業を対象とするものと同様な場合は、そうした資金は下記の表から除外した。

(社会的インパクト投資タスクフォース日本委員会報告より)



- 社会的投資市場とは、NPOや企業による社会的課題解決のための事業に対して、社会的リターン(経済的リターンはある場合とない場合がある)を求める資金提供者によって、提供される資金(社会的投資)が流れる市場全体を示す言葉である。

(社会的投資促進フォーラム報告より)

1. 3つの報告書の定義のずれが意味するもの

	目的	資金提供形態	資金提供先	その他
タスクフォース報告	<ul style="list-style-type: none">社会的目標達成金融リターン獲得を明示的に目指す	<ul style="list-style-type: none">投資	(特に言及なし)	<ul style="list-style-type: none">「両者の達成度を測定しようとする」と明記
日本委員会報告	<ul style="list-style-type: none">社会的インパクトの創出金銭的利益を生むことを目的とする	<ul style="list-style-type: none">助成金融資投資	<ul style="list-style-type: none">民間組織(特定非営利活動法人、協同組合、市民社会団体、社会的企業その他)による社会的事業	<ul style="list-style-type: none">「投融資の条件が一般企業と異なる」と明記
社会的投資研究フォーラム報告	<ul style="list-style-type: none">社会的リターン経済的リターン(ある場合とない場合がある)を求める	<ul style="list-style-type: none">資金の提供	<ul style="list-style-type: none">NPOや企業による社会的課題解決のための事業	<ul style="list-style-type: none">(特になし)

■主要論点

- 社会的目標をどう定義するか
- 資金提供形態に「助成」を加えるか
- 資金提供先を限定するか
- 達成度測定をどう行うか
- 投融資の条件に制限を設けるか

■政策的影響

- 政策目標(金融包摂、社会的企業育成・・・)
- ベンチャー・フィランソロピーの扱い
- 環境ビジネスやコミュニティビジネスの扱い
- 政策対象の範囲(限定? / 達成度のみ?)
- 経済的リターンの制限 / 倫理的諸問題

3. 「社会的投資」関連用語について

社会的投資とは、社会的目標と財務収益の双方の実現を目指す投資を指す。
The UK Social Investment Forum defines “social investment” as “financial transactions intended both to achieve social objectives and to deliver financial returns to investors.” (UK Social Investment Taskforce (2000))

関連概念

- **インパクト投資:**
 - 財務収益と共に社会・環境面でのインパクトを生み出すことを目指して企業、団体、基金に対してなされる投資 (GIINのウェブサイト)
- **社会的責任投資:**
 - 一般的には、「企業への株式投資の際に、財務的分析に加えて、企業の環境対応や社会的活動などの評価、つまり企業の社会的責任の評価を加味して投資先企業を決定し、かつ責任ある株主として行動する投資手法」と理解されてきました。また広義には、「社会性に配慮したお金の流れとその流れを作る投融資行動」を示すものとされてきました。(JSIFのウェブサイト)
- **社会的インパクト債:**
 - 社会的サービス供給費用の支払いに政府以外の投資を導入する金融手法の一つ。成功すれば、社会的価値と公共セクターの経費節減の双方を実現することができる。投資家は、政府が節減した経費の一部から財務リターンを受け取ることができる。 (Emily Bolton & Louise Savell (2010))
- **ベンチャー・フィランソロピー:**
 - 社会に関わるインパクト(社会、環境、芸術など)増進のために、資金的及び非資金的支援の双方を提供することを通じて、より強力な社会目的団体の構築を図るフィランソロピーの一形態。資金的支援には、グラントのみならず、社会的団体のニーズにあわせた一連の資金提供メカニズムを使用する。 (EVPAのウェブサイト)
- **社会的企業**
 - 一般的には、労働市場の統合、社会的包摂、経済発展に貢献する社会的・経済的諸目標を達成する革新的なビジネス・モデルと理解されている(非営利団体、協働組合、多様なハイブリッド団体を含む。)。(Antonella Noya ed. (2009))

社会的責任投資、インパクト投資、社会的投資の市場規模

(Global Sustainable Investment Alliance (2012))

社会的責任投資

13.6兆ドル

- 環境、社会、ガバナンス (ESG)に配慮
- ネガティブ／ポジティブ／規範ベースのスクリーニング

インパクト投資

1,720億ドル

- 社会的／環境的課題の解決に取り組む
- コミュニティ投資、社会的企業への投資、環境ビジネスへの投資等

社会的投資

890億ドル+α

- 社会的課題の解決に取り組む
- コミュニティ投資、社会的企業への投資、非営利団体向け資金提供

4. 「社会的投資」発展の歴史

	社会的責任投資	社会的投資	インパクト投資
1920s	第一世代SRI(ネガティブ・スクリーン:倫理中心)		
1960s		プログラム関連投資(米)	
1970s	第二世代SRI(ポジティブ・スクリーン、社会的株主提案:利益追求へ)	コミュニティ再投資法(米)	
1980s	社会的投資フォーラム設立		
1990s	第三世代SRI(環境への配慮:投資インデックスへ)	コミュニティ開発金融の拡大 ベンチャー・フィランソロピーの 発展(米)	
2000s	ESG投資、サステナビリティ投資へ	社会的投資タスクフォース(英) →コミュニティ開発金融 →社会的企業向け投資	ロックフェラー財団による「インパクト投資」イニシアチブ(2007米) 社会的インパクト債(2009英)
2010s		ビッグ・ソサエティ・キャピタル(英) 社会的証券取引(英)	成功報酬債(2010米) 社会的インパクト投資タスクフォース報告(2014G8諸国)